


The legend of OBASAN



ここにいます  
「がん電話情報センター」  
あなたの知るを助けます

ancer

(全国一律の電話料金でご利用いただけます。  
PHS、一部のIP電話からはご利用いただけません。)

おーここにじょうほう  
**0570-055224**  
受付時間：平日 12:00~17:00  
(土日・祝祭日・年末年始・夏期休業を除く)

12歳になると年に200冊の本を読む日々となっていた。24歳の秋に大学で出会った人と結婚し、東京・新宿の住人となった。36歳の晩秋は「骨髄バンク設立承認」の結論を聞くために、国会の予算委員会に座っていた。48歳、



NPO法人血液情報広場・つばさ理事長、  
がん電話情報センターCTIS相談主任、  
日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団)常任理事

橋本 明子

「人生は左手(左利きなら、右手)」だと、いつも思う。自分のものなのに、なかなか自由に動かせない。  
私は山あいの田舎で生まれた。家は溢れる木々や田畑の緑に囲まれていた。遊んだ小川の透明な水には、梅花藻の白い花が浮かんでした。初夏の畑で採った絹さやの、瑞々しい弾力を指先が覚えている。夜の真っ暗な山肌にくっきりなる「狐の嫁入り」は、怖かったが自然の魅力がたっぷりだった。今も私の感性の根元に横たわる「原風景」がある。

私もこの歳となった。私という個性に含まれる全ての記憶とたくさんの出会いのおかげで、自由にならない左手をそれなりに上手に動かす「知恵」くらいは手に入れたようだ。今からの新しい2011年。爆走するエネルギーはもうないからこそ、家族との暮らし、日々の仕事、友人との語り合いを丹念に穏やかにこなしていきたい。そしてそのためにも是非、時折は珠玉の芸術を鑑賞して、両腕と全身と心のストレッチ、深呼吸をしたいと思う。

「伝説のおばさん」のオススメ 15

## 新しい年を、 丹念に、穏やかに。



Akiko Hashimoto

骨髄移植電話相談に招聘された。若い内は1年、2年好きなように放浪してみるのもいいし、勉強三昧であまり人に会わない数年を過ごすというのも大事な血肉となる。しかしいわゆる大人の層に含まれるようになるのと徐々に家族・親族の中で牽引の立場となり、地域でもまとめ役の一人となり、仕事では責任者の位置に就くようになる。考え方や発言が、自然に周囲を巻き込む力をもって来る。だからこそ、1日ずつ、1年ずつを順次大事に過ごさねばならない。